

## 第3回 ユニコムサミット

# Pride of the Pioneer-先駆者の誇り

# 開催報告

日時 2019年3月2日(土) 13:00~16:00

会場 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

主催 相模原市立市民・大学交流センター

(ユニコムプラザさがみはら)

### ご出席団体様

大野南地区交通安全母の会

相模台地区交通安全母の会

相武台地区交通安全母の会

南区安全・安心まちづくり推進協議会相模台支部

南区安全・安心まちづくり推進協議会相武台支部

南区安全・安心まちづくり推進協議会東林支部

南区安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部

南区安全・安心まちづくり推進協議会

麻溝小学校 PTA

県立学校長会議相模原地区会議 (県立神奈川総合産業高等学校)

株式会社セルクル

東海大学工学部

神奈川県相模原南警察署

相模原市市民局交通・地域安全課

相模原市南区役所地域振興課

相模原・町田大学地域コンソーシアム

ユニコムプラザさがみはら

# 開催にいたる経緯

前回のユニコムサミット（2018年3月3日開催）では、市の自転車条例制定を受け、今回と同様に自転車事故削減に向け、関係の皆さまにお集まりいただきご討議をいただきました。

その結果を受け当ユニコムプラザでは、館内に南区のブースを設け、交通安全のチラシを配架するなどの情報発信を行うとともに、2018年11月7日にユニコムセミナー「自転車を安全・快適に使うには（講師：東海大学工学部土木工学科 鈴木美緒 特任准教授）」を開催しました。

今回は、神奈川県内で初めて自転車条例を設けた市民として、その誇りを持ってさらに活動を進化させるため、前回と同様に関係の皆さまにお集まりいただきご討議をいただきました。

## 今回の運営の特色

- ①参加の皆さまが、互いの顔を見ながらリラックスした中でご発言いただけるよう、机の配置を半円形にし、マイクは使わず地の声で自由にご発言いただきました。
- ②活動の様子などが具体的にわかるよう、随時モニターに画像を写しました。
- ③傍聴の皆さまからもご意見をいただけるよう、アンケートを実施しました。



# 当日の様様

はじめに神奈川県相模原南警察署交通安全課から、2018年



の管内の自転車事故の状況を解説いただきました。管内の事故を当事者別にみると、304件の自転車事故のうち当事者の居住地が南区

管内であるものが80%を占め、地元での声かけ運動のような地道な交通安全活動により、これを減少させる可能性が大いにあることが実感されました。

その後、ご出席の皆さまに、自己紹介を兼ねて日頃の活動についてご報告いただきました。どの地区、学校でも様々な活動がされており、中には全く交通安全に興味のない方でも知らずに参加できるよう、ふるさと祭りや大尻祭りなど交通安全とは無縁のイベントに参加してPRしたというケースなどもあり、皆様実施方法に工夫をされているのがわかりました。実態把握のためのアンケートを実施した所もありました。

交通安全に携わる皆さんが、日頃感じている課題として、

- 子供に一生懸命教育していても、**親や大人が交通ルールを守っていない**。悪い見本になっている。
- ルールを守らない子どもに、**注意する大人がいなくなった**。声掛けが必要だ。
- ヘルメットはいざというときに有効だが、装着が進まない。
- 電動自転車の初速の速さを知らない車のドライバーによる事故も多い。

などがあげられ、これに対し東海大学の鈴木先生のご意見もいただき、

- 子どもへの教育と共に、親世代・大人への教育が必要
  - 事故に遭わない・起こさない、プラスおこしたときにどうするかも教える
  - なぜそのルールが必要なのか、自分のためになると理解した上で初めてルールが守れるようになる。
  - 子どもにヘルメットをかぶらせるのは親の義務であることを親に教える
  - ヘルメットをかぶっていないことが気まずい雰囲気を作る
  - 自動車のドライバー向けの教育も必要
- など、様々な意見が出された。

# 今後の方向性

- ✚ 自転車の乗車マナーではなく**ルール**であることを徹底するため、ルールとその理由を話す場を増やしていく。
- ✚ モデル校を作り、学校生活の中で交通ルールが身につくようにする。手始めに南区内の 1 つの小学校をモデル校とし、さらに学区内をモデル地区に、最終的には南区全域がモデル区となることを目指す。
- ✚ 様々なイベント等での PR が必要であり、当ユニコムプラザのまちづくりフェスタも活用いただく。



長時間のご討議、ありがとうございました。



# 傍聴者の皆さまのご意見

傍聴参加をいただいた方は10名。うち7名の方がアンケートにお答えくださいました。

お母さんと一緒に最後まで傍聴してくれた小学生もいました。

## 主なご意見

- 地道にアイディアを形にしていくことが大切。やれることから着実に取り組もうと思った。
- 交通安全の取り組みがよくわかった。
- 自転車の左側通行への理解は進み、第二段階として自動車のドライバーへの教育が必要となっているという発言に共感した。
- 子どもに理解させた上でないと交通安全は進まない。
- 今後の交通安全活動に新しいアイディアがみつかった。
- どうすれば事故が少なくなるか、優先順位を決めて実行されては。
- 納得できなければルールを守ることができないという発言には、自分の実体験からそのとおりだと思った。
- 親向けの交通安全教室、各地区で行うと良いと思う（検診、幼稚園・保育園のイベントなど）。

たくさんのご意見、ありがとうございました。

